

# カリキュラム

コースコード：23-128

タイトル	デジタル時代を勝ち抜くDX活用講座【名古屋】		
サブタイトル	デジタル技術とデータ分析を用いた競争優位の確立に向けて		
研修のねらい	<p>今日、企業には、成長や競争力強化のために新たなデジタル技術を活用してビジネス・モデルを再検討し、デジタルトランスフォーメーション（DX:Digital Transformation）を円滑に遂げることが求められています。</p> <p>本研修では、DXが中小企業に与える影響を認識した上で、先進的なDX事例を交えながら、自社でDXを円滑かつ迅速に進める方策について、講義・演習を通して学びます。</p>		
研修の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DXが中小企業にとってどのような企業内の変化を生じさせるのか、その動向について学びます。</li> <li>・DXがもたらす利点を見出し、ビジネス変革のための自社における課題を整理します。</li> <li>・自社のビジネスでどのように活用するか、その手順を検討します。</li> </ul>		
対象者	経営者、経営幹部 ・DXの取り組み方や事例について関心のある方 ・自社におけるDX推進を検討したい方	定員/最大定員	24名 / 最大 32名
		研修期間/時間数	2023年9月14日（木）～15日（金） 2日 / 14時間
		会場	名古屋国際センター 5階 第1会議室
		受講料	22,000円

## 科目構成

日付	時間	科目	内容	講師
9/14 (木)	9:50～10:00	開講式・オリエンテーション		
	10:00～11:30	デジタル技術活用の現状とDXの推進	DXを実行する上での現状と課題や、その拡大によるビジネスの変化とその影響について学びます。 ・ビジネスにおけるデジタル技術活用の変遷 ・DXによるデジタル変革の必要性	桜美林大学 教授 坂田 淳一
	11:30～13:00 14:00～18:00	DXによる自社のビジネス展開と競争優位の確立	既存システムの刷新による企業活動でデジタル技術を用いて経営革新を成し遂げた中小企業の実例を交えながら学びます。 ・既存ITシステムの問題点把握、克服の道筋 ・DXによるデジタルビジネスの種類やパターンの理解 ・DX導入・推進に係るコストと課題 ・DX導入・推進に係る社内体制の構築 ・DX人材不足のための対応 ・中小企業のデジタル技術活用による経営革新事例	
9/15 (金)	9:30～10:30	DX展開の現状考察及び課題解決に向けた指針の追求	アンケートを元に受講者のDXに関する疑問を共有し、考察していきます。さらに、DXに関する知識を掘り下げ、ビジネス変革の指針を導き出します。	
	10:30～12:30	先進企業事例紹介	デジタル技術を効果的に活用し、企業変革に取り組む先進企業の実例から、DX推進のヒントを学びます。	<事例企業> 有限会社丸昇 代表取締役 安藤 明弘  有限会社丸昇 PR/システム管理/戦略開発部 部長 村井 裕也  <コーディネーター> 坂田 淳一（前掲）
	13:30～16:30	自社のDX展開によるビジネス活用の検討（演習）	自社においてどのようなDX展開が可能になるか、また、どのようなDXが改善やビジネスチャンスの拡大につながるのかを、個人ワークやグループディスカッションを通して考えをまとめ、整理・発表して共有化を図ります。	坂田 淳一（前掲）
	16:30～17:30	DXの先にあるSX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）に向けて	全体の講義を通じた総括とデジタル技術活用による経営改革のあり方を再検証し、サステナビリティ・トランスフォーメーション（経営持続可能）な中小企業を目指す活動について解説します。	
	17:30～17:40	閉講式		

講師氏名	略歴
坂田 淳一 (さかた じゅんいち) 桜美林大学 教授	早稲田大学大学院情報通信研究博士課程卒業、博士（情報通信学） 中小企業総合事業団（現：中小機構）、アーサー・アンダーセン（株）、東京工業大学准教授を経て現職。専門は、情報通信工学、情報科学、データマイニング、デジタルビジネス。また現在は、中小企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）による経営革新についての研究に取り組んでいる。著作に、地域とイノベーション 中央経済社、新ベンチャービジネス論 税務経理協会 グラフィック経営財務 新世社（いずれも共著）など。